

山口県教育会

令和4年度現職研修助成事業研修概要

児童の主体性を引き出す言葉かけの工夫  
～ペップトークの取組を学校から家庭・地域へ～

田布施町立城南小学校

## 1 学校紹介

本校の校訓は「自立」であり、学校教育目標を「自立に向けて、ともに磨き合う児童の育成」を掲げている。

田布施町立城南小学校は田布施町の北西部光市と隣接する地域にある。田畑が残り近くには田布施川が流れ、校区内には季節になるとホテルが飛び交う地域もあり、豊かな自然が残る場所にある。

祖父母と一緒に三世代で暮らす児童も少なくなく、地域の学校の活動への関心は高く、朝、児童が登校してくるときには、登校班に付き添い一緒に登校してくださる安全ボランティアの方が各地区にいてくださったり、学習におけるボランティアをお願いすると多くの方が来校してくださったりして、子どもたちの活動を支援してくださる恵まれた学校である。

児童は全部で57名。各学年は1クラスずつ。特別支援学級が2クラスあり計8クラスある。1クラス、約10名程度という少人数の学級で教職員の目も行き届きやすく、日ごろから教職員が児童に声をかけているのを見る。その分、児童は教職員に頼るところも多く、「自立」という校訓を掲げている本校としては、もっと児童に主体的になってほしいし、もっと自分の考えを主張してほしいと思うことがあった。

そこで昨年、教職員に日ごろの児童への声かけの参考にしてもらいたいとペップトークを紹介し、今年度は教職員はもとより保護者や地域の方にもペップトークを広げたいと考えた。そのため、人権参観日に毎年行っている人権講演会にペップトーク講演会を実施することとした。

## 2 ペップトークとは

ペップトーク(PEP TALK)のペップ(PEP)の意味は「元気・活力」といった意味で元々ペップトークとはアメリカのスポーツチームの監督やコーチが試合前に選手の士気を高めるために行っている短いスピーチのこと。

試合前の選手の士気を高めるため指導者は選手にこれまでの選手の努力を認める言葉や相手よりも自分たちの実力が上であることなどを伝え、気持ちを奮い立たせる。それと同じように日常の生活の中でも相手に気持ちを高める言葉かけをすることで同じような効果が見込まれることを日本ペップトーク普及協会が提唱している。

子どもたちに「させる」のではなく、「自らの気持ちでする」、そうすることで城南小学校の校訓である「自立」を体現できるのではないかと、そんな思いでペップトークに取り組

み始めた。

ペップトークとは逆に子どもたちのやる気を失せさせる言葉「プペトーク」は日頃ついつい言ってしまいがちな言葉だが、ペップトークを意識することで児童のやる気を奪うような言葉かけを私たち教職員は絶対しないようにしたい。

### 3 ペップトーク講演会

11月22日(火) 14:10～14:55

演題 「ペップトーク 言葉が変われば 未来が変わる」

講師 日本ペップトーク普及協会 末永 成一 様

参加者 1年生から6年生までの全校児童 保護者 地域の方 教職員

#### 【保護者・地域の方の感想】

- ・ 日々、自分がどれだけネガティブな発言をしていたかを振り返ることができた。
- ・ ポジティブ発言に変換できるように気を付けていきたいと思った。
- ・ もっと子供や家族に対して感情で言葉を発するのではなく、相手の立場になって言葉を言えたらいいなと思った。
- ・ 言葉の大切さを学ぶことができた。日常の自分の言葉・言い方などペップトークの考えを使っていきたいと思った。
- ・ 自分自身もペップトークで勇気づけて子どもが前向きになれるような肯定的な言葉かけができるようにしようと思った。

### 4 本校教職員によるペップトーク実践事例

場面	プペ(やる気を奪う言葉)	ペップ(やる気にさせる言葉)
朝の準備が遅い児童	時間なので急いでください。	どうして時間に間に合わなかったのかな？ 明日は時間に間に合うように頑張ろうね。
忘れ物をしてきた児童	忘れ物はいけません。	どうして忘れてしまったのかな。しっかり準備をしようね。 やればできるね。
給食を食べるのが遅い児童	早く食べなさい。取りかかりが遅いから、どんどん時間が過ぎるのですよ。	今日苦手な給食だったの？ でも、昨日よりも食べるスピードがあがっているね。少しずつ成長をしているね。明日も、頑張ろうね。
感情のコントロールが難しく、手が出てしまう児童	なんでそんなことをしたのですか。手を出してはいけません。	どうすれば手を出さずに解決出来たか一緒に考えてみよう。 手を出す前に自分から離れられたね。成長だね。
忘れ物が多く、宿	また忘れたの。	連絡帳に書いて、日課と一緒に確認し

題などの提出物が送れる児童	ちゃんと日課を揃えてるんですか？	よう。 わからないところは一緒に考えましょう。直せることは直してきましょう。
学習チェックで、なかなか合格できず、泣いている児童にかけた言葉。	泣いてもだめだよ。まじめに勉強しないから、こんなことになるのです。がんばって合格しなさい。	悔しいね。 まじめに一生懸命取り組んでいる君はすばらしい。 元広島カープの鈴木誠也選手は、とても悔しがり屋だったそうだ。猛練習をして、侍ジャパンの4番になった。そして、今は、米大リーグで活躍している。 大丈夫。君も努力すれば、合格する。応援するから、いっしょにやろう。 (この児童は、野球が好きなのでこのエピソードを話して聞かせた。)
情緒不安定になり、交流学习に遅刻した児童にかけた言葉。	授業に遅れてはだめだよ。時間を守りなさい。	君が来るのを待っていたよ。自分で気持ちを切り替えたところが、とてもえらいね。
作業に時間がかかる子どもへの声かけ。	早く急いでやらないとだめですよ。	遅れはすぐに取り戻せるから大丈夫。分からないところは、質問してね。

## 5 考察

今年度は校内研修の中にペップトークを位置付けて全校体制で取り組むことができた。上述のように各教員は実際にペップトークを児童に行った。やってみてペップトークを意識していないとついついプペトークになってしまうようなところもあり難しかったようだが、ペップトークで前向きな言葉をかけられた児童は、自己肯定感の高まりが見られ、失敗してもまたやってみようとするなど主体的に活動する児童が増えてきたように思う。

今後はペップトークの取組を継続し、定期的にペップトークについて振り返ることができるよう、学校便りなどで広報したり、学級の保護者会などで話題にしてもらったりしてもらいながら城南小学校の校区のみんなでペップトークに取り組めるように働きかけていきたいと思う。